

夫婦が求めるライフスタイルを実現！

～君津で農業始めました～



高橋農園

高橋さん夫妻（小糸地区）

君津市に移住、新規就農を実現し、夫婦2人3脚で農業に奮闘されている、高橋伸行さん・綾子さんご夫婦からお話しを伺うことができました★

お互いのライフスタイルを実現したい！

（伸行さん）

君津市へ移住したのは2015年の1月で、現在の家には2017年から住んでおり、私たち夫婦と現在小学6年生と3歳の子供の4人家族です。

移住への理由はいろいろありますが、香川県に在住していた際、これからも当時の仕事を続けていくことに疑問を持つようになり、将来設計を立て直した時期がありました。決定的になったのは二人目の子どもを授かったことで、より充実した子育ての環境を求めていることです。

(綾子さん)

もともと、いずれは関東地方へ戻るつもりでしたが、2011年に発生した東日本大震災をきっかけに居住する地域について更に考えるようになりました。

(伸行さん)

君津市への移住の決め手は、妻の両親に見守られながら、子育てが出来る環境に加えて、妻が今まで取り組んできた美術の仕事に、何らかの形で携わっていきたいという気持ちがありましたので、近隣に美術館があり、通勤可能なエリアでの移住を希望していました。都心へのアクセスが良好なことに加え、適度な田舎で豊かな自然環境がある立地は魅力的でした。

こうした2人のニーズに合致したのが、妻の地元である君津市だったんです。

移住に向けてまず“これ”に取り組みました。

(伸行さん)

住居を探すことですね。移住前を含めると3年以上は探したと思います。

農業を営むうえで農作業が可能なスペースが必要なことから、私たちの条件に合致した物件はなかなかありませんでした。

そこで色々な地域に出向き、情報を収集し、空き家の所有者に直接交渉などもしましたが、まとまりませんでした。現在、住んでいるこの家も、最初は断られました。他の物件を探しつつ、再度連絡を取ったところ、タイミングよく購入することができたんです。

君津で暮らしてみても

(伸行さん)

まず気候が温暖なところがいいですね。新潟生まれなので、特に冬などに私の両親を招くと、雪がなく、とても暖かくていいところだねと言ってもらえます。

仕事面では、現在はカラーと、生け花で使用されるスイレンやコウホネという特殊な花を栽培しています。ここは東京という一番大きなマーケットが近くにあり、遠隔地に比べ鮮度、輸送コスト、販路開拓の面で有利です。これは農業に限ったことではないかもしれませんが、君津市が持っているとても大きなメリットだと感じています。

気になる点は、君津市で農業をやりたいという市外の方と話をすることで、私たちと同様に住居についての悩みを聞くことが多いですね。やはりいきなり住

居を購入して移住するのはハードルが高いと感じています。

（綾子さん）

君津市は利便性と豊かな自然、両方の面を持ちながら、都心へのアクセスがよいところも魅力的ですね。

また、大手鉄鋼関連企業が立地している影響もあり、昔から住んでいる人たちのコミュニティだけでなく、市外から転入してきた家庭も多いので、移住者に対して比較的寛容な雰囲気を感じています。

あと、個人的にうれしい点として、県内有数の蔵書数がある中央図書館が身近に利用できることです。館内も広く、多くの分野の本を借りることが出来るのがありがたいです。

新規就農へ向けて

（伸行さん）

新潟で祖父母が農家をしていたこともあり、農業という職業はイメージし易かったです。しかし、サラリーマンという安定した収入が得られる職業とは異なるため、収入や初期投資に対する不安は大きくありました。まずは市や県の農業事務所に足を運び、君津市の農作物に関する情報収集を行い、イチゴやカラーの生産が盛んだという話の中で、初期投資額などを考慮し、カラー作りを目指していくことを決めました。



全国生産 NO.1 の水生カラー

その際、先輩農家さんからの研修を受けながら、給付金をもらうという新規就農者の支援制度等も農業という選択を後押ししてくれました。研修先で技術の習得をしつつ、その期間に農地をさがしました。

（綾子さん）

農業に取り組んでいく上では、やはりやってみないとわからない部分が多いと思います。特に経営に成功されている先輩農家の方の話などを積極的に伺うことなどがとても参考になっています。



睡蓮の栽培風景

(伸行さん)

農業をはじめるときの、いちばんのハードルはとにかく、農地と住宅の確保に苦労しました。農地については、耕作放棄地などはところどころあるとは思いますが、やはり実際に活用するには障害の多い場所であったり、所有者との交渉がうまくいかなかったりと、なかなかマッチングに至りませんでした。また、借りた土地を利用できるようにするまでにも、繁茂した雑草の処理や片付など、かなりの労力を要しました。

移住を検討している人たちへ

(綾子さん)

私たちは、農業という職業を選択したため、他の職業に比べて自然と地元の方たちとの関わりやつながりが深いなと感じています。

ご近所の皆さんには、地域の色々なことを教えていただいたり、おすそ分けをいただくなど、とても良くしていただき、充実した生活を送っています。

移住をご検討されている方は、自分が住んだ時のイメージを思い描くだけでなく、是非その地域を訪れて地域の方から話を聞くことではじめてわかることもありますので、参考にして欲しいと思います。